

明日への希望、生活の潤いに

2024年版カレンダー

鎌倉・逗子の四季

鎌倉

鎌倉市観光協会の24年度となるカレンダーは、市内で撮影された鎌倉の年中行事・同会主催行事を中心に、四季折々の写真が掲載されている。



12月の「新春・ゆめ」も「鎌倉」プロモーションフォトコンテスト2023の入選作品。テーマは「また鎌倉で」。ほかにも表紙や巻末にコンテストの個性豊かな入選作品が紹介されている。日支や、巻末に恒例の鎌倉の社寺の花暦も掲載している。鎌倉散策にも役立つ。SDGsへの取り組みとして、インキや用紙など環境にやさしい素材を使用し、ユニバーサルデザインを取り入れて、誰でも使いやすいカレンダーを目指した。B4判(見開きB3サイズ、1320円(税込み)。同協会事務所(鎌倉市御成町)ほか鎌倉駅や大船駅周辺などの書店で販売。同協会 ☎0467・33050

湘南モノレールの夜(長谷田一平さん)、2月「疾走」(小路貴さん)、3月「アップダウン」(矢野拓実さん)、4月「鎌倉の夜」(和田一彦さん)、5月「シジミの花」(童の如)(関根克義さん)、6月「レンコンの優しさ」(林亮一さん)、7月「秋の気配」(三田村裕さん)、8月「大樹に隠れたモノレール」(矢野拓実さん)、9月「月との邂逅」(山内明徳さん)、10月「ピクニック」(山内明徳さん)、11月「朝日と湘脚」(西澤優さん)、12月「湘南モノレールで唯一の橋」(藤原浩幸さん)、12月は「夕暮れ」の輝きに「花婿祐治さん」を力作ぞい。

暮らしたとも

湘南モノレールの夜(長谷田一平さん)、2月「疾走」(小路貴さん)、3月「アップダウン」(矢野拓実さん)、4月「鎌倉の夜」(和田一彦さん)、5月「シジミの花」(童の如)(関根克義さん)、6月「レンコンの優しさ」(林亮一さん)、7月「秋の気配」(三田村裕さん)、8月「大樹に隠れたモノレール」(矢野拓実さん)、9月「月との邂逅」(山内明徳さん)、10月「ピクニック」(山内明徳さん)、11月「朝日と湘脚」(西澤優さん)、12月「湘南モノレールで唯一の橋」(藤原浩幸さん)、12月は「夕暮れ」の輝きに「花婿祐治さん」を力作ぞい。

鎌倉彩光

倉の四季花暦も掲載。B4ワイド、1870円(税込み)。書店や通販サイトで購入できるが、星写真画館では原



江ノ電カレンダー

地域の公共機関として生活に溶け込むとともに、観光客にも愛されている江ノ電は、1902年の鉄道開業から昨年120周年を迎えた。藤沢市にアトリエをもつ画家湯浅誠さんが掛く江ノ電沿線の風景画7点が構成するカレンダーは、今年で13作目。



表紙の「夏潮の鎌高前」、12月の「梅見月の御霊神社」、34月長谷の菜の花」、910月曼珠沙華と鉄橋」、1112月「冬夕焼けの富士」

2024年版「逗子の旅」は、地域の魅力を探しての表紙は「逗子旅カレンダー」。富士山と江の島を望む

心ふる里に行く

鎌倉で「こや」のこれから歩み

池田雅之

NPO法人「鎌倉でこや」は、03年に発足して今年で20年が経つ。鎌倉生涯学習センターで10月14日「鎌倉でこや20周年記念式典」が開催された。鎌倉市民の皆さんの声援をいただき、感謝を禁じ得なかった。鎌倉でこやは、姫路在住の精神科医森下一さんの提唱で始まった。森



鎌倉でこや 20周年祝賀会で(左から3番目が筆者)

下の先生だけではなく、地域のさまざまな職業を持った大人たちから注がれているという意味だ。森下さん、人たちは、地域の大人たちも、地域の人たちも、子どもたちも、みんなと向き合おうべきだと説いているのである。鎌倉でこや、一言でいうと、子どもと若者の育成プロジェクトであるが、地域コミュニティを再生させるための、さまざまな試みである。

古に思いをさせて

万葉 野の花

万葉集に詠われている野の花を水彩で描き、万葉集を添えての。絵と書は鎌倉市庄の野の花画家・阿見まりさん。1月「ハギ」2月「あじ」3月「アザミ」4月「アケボノ」5月「アサギ」6月「アサギ」7月「アサギ」8月「アサギ」9月「アサギ」10月「アサギ」11月「アサギ」12月「アサギ」



鎌倉彫カレンダー

江戸時代から明治・大正期にかけて制作された鎌倉彫の真髓を感じさせる。34月の「菊桐」由比が浜の鎌倉彫工芸角火鉢と56月「水鳥形香合」は江戸時代の彫金師が制作した作品。78月「手刺り双蝶」小盆、910月「菊文筆」、1112月「小箱」桐

鎌倉能舞台

鎌倉能舞台が発行している「表紙の安全」に始まり、12月の「草子洗小町」(4月)「敦盛」(8月)「紅葉狩」(9月)、「11月」船舞など春夏秋冬の形名場面が紹介されている。



高僧の書と禅語など

天下 禅林

鎌倉の臨済宗建長寺派大本山建長寺の発行。臨済宗建長寺僧堂柏林室、酒井泰玄老師の揮毫の書で構成。「真心通祖心」から始まり、12月の「一茶」として飾ることもできる。2月「晴好雨奇」、34月「雲雨々」、56月「水漫々」、78月「夏目涼風」、910月「冬月清風」、1112月の「明月清風」



龍驤鳳翔

北鎌倉の臨済宗円覚寺「龍驤鳳翔」。9月は「小言い」10月は「茶、そして12月刻」



鎌倉ボンズくん

寺社を中心に鎌倉の魅力発信するメッセージとして登場したキャラクター「鎌倉ボンズくん」。2023年に誕生10周年を記念して作られたカレンダーで、31月「たこあひ」、2月「雪お月見」、3月「日本の四季折々の行事や風景がほのぼの描かれている。販売、問い合わせはkamakura@kankakura.com



藤澤浮世絵館オリジナル 2024年カレンダー

藤澤市藤澤浮世絵館が、官と照手姫が描かれている風景面の浮世絵を両面にあしらったカレンダーを製作。712月の面は、一尺川広重の代表作「諸国名所百景 相州七里か浜」。



アート作品

ほっこりアートカレンダー

障害者の就労支援を目的とする絵画12作品を集めた活動する特定非営利活動法人「道」が運営する障害者福祉サービス事業所「道工房」では、障り、鳥森屋、有隣堂書の有無に關係なくアーティストたちから販売。収益は絵の作者たちのデザイン料に。道工房 ☎0467・23・8772



かまくらカレンダー2024

鎌倉在住のイラストレーター伊東雅江さんに、1200円(税込み)。12月1日から鎌倉市書房映画記念館、たらい書房、翠堂などで販売。



木版画高橋幸子 2024カレンダー

「心の版画家」と呼ばれる高橋幸子さんは、9月「つと」続き、12月は「つと」が「つと」のカレンダーは生き物と食べ物のほのぼのとした絵や文が彩りに浮かびあがっている。1月は「あの子とふたりみかんを食べた」、2月は「あつたに楽しかった」、3月は「おかん」、5月は「かきわもち」6月は「青草の橋」、7月は「うさぎと新茶のうさぎ」



里山カレンダー

「鎌倉山の会」が製作したカレンダーの2作。同会は、鎌倉市鶴岡98と高盤山緑地間の山の保護や散策路の整備のほか、青の保存の活動を行っている。山仕事の楽しさ、里山の魅力を伝える。活動資金調達のため、同会会員の写真家・小暮こてつさんが年間を通して撮影した鎌倉山の四季1カ月毎の月カレンダー(写真13枚)を製作。写真13枚、申し込みは吉田さん zang@my.zaq.jp



＊愛読者プレゼント

「鎌倉を5人、能」を10人に。往復ハガキに希望カレンダー名と鎌倉朝日の感想、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、1面題字下の住所の鎌倉朝日へ。12月8日消印有効。多数抽選。